

会報

No. 37

平成7('95)年8月1日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)771-0069

平成七年度

定期総会開催さる

日時 平成七年六月十五日(木)
場所 京都府立総合資料館

開会に際して、高向洋祐京図連協
会長、会場館である京都府立総合資
料館上坂淳二館長の歓迎の挨拶、つ
づいて京都府立図書館高木多喜男館
長から府立図書館状況についての報
告を合わせた挨拶が行われました。

◇会長挨拶◇

本年は国内において、色々なこと
が起こっている。ガットウルグアイ
ラウンドでミニマムアクセスが実施
され、毎年計画的に外国から米を輸
入しなければならぬようになった。

一月十七日の阪神大震災として多く
の図書館の被災、二月には地下鉄サ
リン事件その後におけるオウム一色
のテレビ報道、又特に経済不安の長
期化状況は図書館の整備や在り方に
も及んでおり、各図書館の中でも真
剣に議論しなくてはならないと思う。

一つには、阪神大震災の教訓を今
後どのように取り入れてゆくか。
二つには、コンピュータによるネッ
トワーク化をどういうふうに進める
かといったことがある。
アメリカのゴア副大統領が世界を

インターネットで結ぶ計画を発表し
てから、どの分野でも急速にネット
ワーク化を進ませる状況にある。

午後の事例発表を聞く中で、こう
した内外の状況もふまえ、自分達の
図書館では今何をなすべきかを互
いに研究していただきたい。

◇総会議事◇

総会は、議長に府立総合資料館の
中川正己氏を選出。定足数を満して
(五十一館のうち四十六館の出席及
び委任状)総会が成立することを確
認して議事が進行し、報告・議案が
承認された。

概要はつぎのとおり。

進む図書館の建設・相互協力

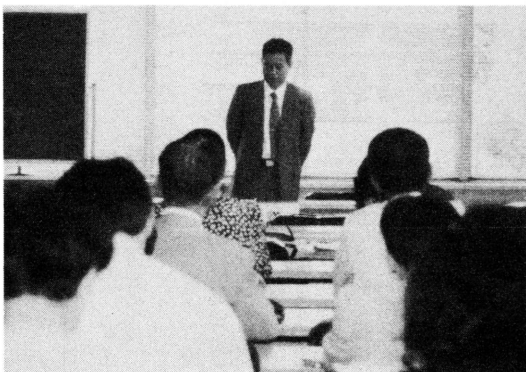
事務局から六年度会務報告・専門
委員会報告・収支決算報告が行われ
た。特に「京都府内の図書館をめぐ
る動き」として、六年七月の井手町
図書館の開館につき京都市岩倉図
書館の開館(七年四月)、七年度中
に城陽市、宇治田原町が開設予定に
あり、そして山城町においても建設
の具体化計画が進んでいる。さらに
近い将来には三ないし四町が図書館

建設計画をもつ状況にあることが紹
介され注目された。

また、六年四月から実施された
「FAX版WANTED」により府
内図書館蔵書が有効的に活用される
体制が軌道にのり大きな成果をあげ
ていることが報告された。

事業計画

事業予算五十一万六千円(昨年度
より四万四千円増)により、総会、
理事会、実務研修会(一泊研修)、
相互協力事業、会報のA四判化、日
本図書館協会評議員会へ会長派遣、
第五回京都図書館大会の開催等に対
応してゆく、さらに今後の事業の拡
充に向けて、三年越しになる市町村
法令外負担金増の申請を引続き行
う等。



会の略称を『京図連協』と定む

従来、規定していなかったことから、「京図連」と「京図協」の二つの呼称があり混乱を招いていたので会則第一条を改正し統一を期したものの。

◇七年度被表彰者◇

- 松本 優子 (宇治市東宇治図書館)
 - 田中満喜子 (宇治市中央図書館)
 - 竹久 明子 (宇治市中央図書館)
 - 吉田麻由美 (宮津市立図書館)
 - 佐々木栄江 (京都市山科図書館)
 - 山本 悦久 (京都市東山図書館)
 - 高島 博子 (京都市右京図書館)
 - 藤阪 正弥 (京都市伏見中央図書館)
 - 村上 敏明 (京都市向島図書館)
- いずれも、公共図書館勤務歴が十年から十四年になる方々。

◇事例発表◇

◎ 「京都市の図書のリサイクルについて」ということで、京都市醍醐図書館の三家多賀成氏が発表。

昨年秋の十月に、京都市図書館が行った、廃棄する図書の中からまだ利用のできる図書約六千冊を、児童館、学童保育所、福祉施設等の公的施設・団体によびかけ、無償で譲渡する第一回図書リサイクル



ル会についてその概要を経過と結果、意義、問題点などを話された。

◎ 田辺町立図書館から大槻政美氏が昨年更新導入した電算システムについての説明と更新にあたって留意したこと、更新後よくなったことや本年一月に設置した視覚障害者用開放端末（健常者兼用）について報告された。

◎ 舞鶴市立西図書館からは和田朋子氏が「児童サービス いまこれから」と題して選書・配架・行事等について自館における現状と個人的な体験や自主的サークルにおける学習の中から学んで考えたこれからの向けての今日の心境を熱っぽく話された。

◎ 六年度に京図連協に加入された和束町体験交流センターからの報告で発表者は社会教育主事として図書サービスにも携わっている伏井俊弘氏。

平成二年七月に旧府立高校分校を改造した施設内に、府立図書館の広域貸出事業を受けてオープンした図書館の設置経過及び利用状況と、一日も早く図書館や公民館の建設が実現できるように頑張っている小さな町ならではの様子を楽しく聞かせてくれた。

◆人事異動に伴う京図連協役員異動

- 副会長 新 藤村 英子 (峰山町立図書館長)
- 理事 旧 下戸 明夫
- 理事 新 三家多賀成 (研修研究委員長) (京都市醍醐図書館長)
- 理事 旧 村上 敏明
- 理事 新 川野 敏子 (相互協力委員長) (京都府立図書館)
- 顧問 旧 岡田 友明
- 顧問 新 久保 恒男 (京都市中央図書館長)
- 顧問 旧 北川 恵三

◆新館長紹介

- 京都市中央図書館 久保 恒男
- 同 北図書館 早野 潔
- 同 左京図書館 長積美智子
- 同 西京図書館 駒井 孝次
- 同 向島図書館 原田 正彦
- 同 岩倉図書館 増田 邦雄
- 八幡市立八幡市民図書館 澤井昭子
- 八幡市立男山市民図書館 澤井昭子
- 精華町立図書館 澤田 克朗
- 福知山市立日新図書館 内田 英子
- 峰山町立図書館 藤原 英子

〈平成7年度研究集会等〉

- 第81回全国図書館大会 於：新潟市 10月25日(水)～27日(金)
- 全国公共図書館協議会研究集会
 - ・整理部門 於：松江市 9月20日(水)～21日(木)
 - ・奉仕部門 於：草津市 10月5日(木)～6日(金)
 - ・移動図書館/協力事業部門 於：三重県阿児町 10月12日(木)～13日(金)
- 近畿公共図書館協議会研究集会
 - ・整理部門 於：大阪市 (担当：大阪市中央図書館)
 - ・奉仕部門 於：草津市 (全国奉仕部門と同時)
 - ・参考部門 於：京都市 (担当：京都府立図書館)
 - ・児童奉仕 於：京都市 (担当：京都市中央図書館)
- 地区別公共図書館研究協議会 (主催 文部省 和歌山県 他) 会場：和歌山県立図書館 9月28日(木)～29日(金)

N e w s

府立図書館受難？

府立図書館の蔵書整理休館に引き続き、四月二十八日付のFAX通知による『臨時休館及び休館中の市町村サービスについて』が当館に届き、「うむ？」と考えておりますと、翌二十九日の京都新聞が報じる府立図書館記事であります。このFAX通知と新聞記事を読んで、どうしたんだろう、どうなるのだろうかとの思いを抱いた府内の図書館員はわたくしだけではないだろうと思えます。

折しも京都府南部図書館等連絡協議会（南図協）は総会及び研修会を開催したのですが、席上、府立図書館の異常事態が話し合われました。

一方、京図連協総会も六月十五日に開催され、冒頭に高木府立図書館長が府立図書館の状況報告をされました。文書ではなく、なまの説明を聞くことで先の「うむ？」はいくらか晴れたようです。

今日、府立図書館の主要機能として、市町村図書館のバックアップがあげられます。そ

ういう意味では、わたくしたち市町村図書館は必然的に非常事態に陥ることになったわけです。

わたくしたちは、以前、京都府社会教育委員会議の中間報告の中で、府立図書館新館の必要性がうたわれたことをここであらためて思い出します。他府県ではすでに着実に進歩しているようです。この機会に次代をにらみ真の府立図書館になるよう、新たなスタートがえられるよう願ってやみません。

（八幡市立男山市民図書館

仁科晴夫）

参考

六月二十一日付府立図書館から

市町村への通知文

府立図書館（本館）の再開館について

府立図書館（本館）では、阪神・

淡路大震災で建物の一部箇所被害を受けたこともあり、建物の状況について調査したところ、二、三階について老朽化が進んでいることから、安全性の高い一階で業務を行うこととし、五月一日（月）から館内模様替え等のため臨時休館しておりますが、下記のとおり再開館しますの

記

一、再開館日 七月三日（月）へ開

館時間・休館日は従前どおり

二、再開館後の市町村サービス

(1) 協力貸出 従前どおり実地

(2) 資料相談 従前どおり実施

(3) 連絡協力車

八月から府北部（中丹以北）

への巡回を月二回（現行：

月一回）に増便する予定

岩倉図書館オープン



京都市で十六館目の図書館となる岩倉図書館が四月十八日、自然に恵まれた歴史と伝統のある岩倉にオープンしました。

鉄筋コンクリート造り一部木造平屋建てで広さ約五百六十平方メートル。外観を民家風にして石庭を設け、ゆとりを感じさせるよう工夫しています。

館内に一歩足を踏みいれると、書架をはじめ、天井、床、その他の家

具すべてが木や木調でまとめられ、コンクリートだけの建物では味わえない木の温かさや優しさを感じていただけることと思います。

自然の光をふんだんに採り入れた明るい図書室は、遊び心をもって楽しく本と触れ合ってみたくなるカーペット敷きの幼児コーナー、落ち着いた雰囲気なかでじっくり本が読める庭園の見える閲覧コーナー、のびのびとした気持ちで新聞・雑誌などが読めるブラウジングコーナーがあります。

受付カウンターは、丸味をもたせてやわらかな印象を与えているのも特長の一つです。

開館時は約一万冊でスタート、最終的に四万冊をそろえたいと考えています。

地域図書館では初めて中央図書館とオンライン化し、同館の蔵書の検索ができるようになりました。

利用者端末はディスプレイタッチパネル式で、だれでも手軽に検索できるのも利用者からも好評です。

人と出会い、くつろぎ、コミュニティとして活発に利用していただき「暮らしに役立つ図書館」として地域に愛され、親しまれる図書館を目標に、今後も努力していきたいと考えています。

新加盟館紹介

宇治田原町中央公民館図書室

京都府図書館等連絡協議会に、今年度より加盟させていただきました「宇治田原町中央公民館図書室」です。

当図書室は町中央公民館の支関ホールに設けられており、住民一人弱に対し蔵書数は一万と少し、利用登録者数も七〇〇名弱という大変小規模なところですが、その図書室も現在建設中の「宇治田原町立図書館（町総合文化センター内）」の開館に向けて準備のため閉室状態であり、府立からお借りしている貸出文庫で臨時貸出を行っています。規模は今まで以上に縮小されたものの、近くの小中学生たちも今までと変わらず顔を覗かせてくれています。

新設図書館では住民の方々の身近な学習の場、又コミュニケーション・情報交換の場として利用していただけるよう、より充実した図書及びAV資料の整備に努めていきたいと考えています。

来春の開館をひかえ、利用者に喜ばれる図書館づくり、又開かれた図書館づくりを目指して、ピーアール活動にも今後一層力をそそいでいきたいと思っています。

ス ー ー 二 会 員 委 門 専

◎相互協力委員会

平成七年度、相互協力委員会では、二名の委員の交替がありました。岡田委員長の異動に伴い、府立図書館閲覧課長川野並子氏が相互協力委員長に、田辺中央図書館からの委員が、北川智子氏から大槻政美氏に交代しました。

平成六年度の相互協力委員会では、六年度から実施されたFAX版「WANTED」の今後についての検討、相互貸借実態調査実施の為の準備、「京都府公共図書館新聞・雑誌総合目録」補正版についての検討が、課題としてあげられました。

FAX版「WANTED」については、先日行われた総会でも、問合わせ資料のあり方についての意見が出されています。

秋には相互協力委員会を開催するとともに、必要に応じ、相互協力担当者会議を開く予定です。各図書館、読書施設の現状を出しあいながら、よりよい方向を見出す努力をしてゆきたいと考えています。また実態調査、目録追録に

についてもこれらの会議の中で、十分検討してゆく予定です。

◎研修研究委員会

今年度の事業計画の詳細を検討する第一回の研修研究委員会は、七月六日に開かれ、はじめに、次のような委員の交替の報告がありました。

- 田辺町 藤井 洋子▽釘本 容子
- 木津町 生澤 誠一▽山岡 孝行
- 精華町 坂田 智子▽鎌田 政子
- 峰山町 下戸 明夫▽藤原恵美子
- 京都府 西村 隆▽長谷川芳一
- 京都市 村上 敏明▽三家多賀成

討議の結果、基本的には、昨年の方針に沿って活動することになりましたが、今年度は、次の点に留意して事業をすすめます。皆様の積極的なご提言とご協力をお願いします。

- ① 利用者の中に障害者がいることを念頭に置き、いま欠けていて、日常的にやれることを追求したい。
- ② 事業を具体化する際、館員の経験年数等の実情にあわせて、それぞれに有益なように企画していく。
- ③ 将来ネットワークを形成する際に土台となる理想的なかたちはどんなものかを小委員会できちんと定める。
- ④ 児童青少年の分野では、絵本の選書を取りあげて、研修会を開催する（十・十二・二月を予定）。
- ⑤ 実務（一泊）研修は、十一月中

に「カウンター業務」をテーマに亀岡市または京都市で開催する。

- ⑥ 京都図書館大会の企画・運営などを含め、研修研究関連の事業については、広く提言を求め、それらを生かすようにして実施する。

◎広報委員会

本年度第一回会合を六月一日、新メンバー一名（京都市向島図書館からの委員が、原田正彦氏から辻井善雄氏に交替）を迎えて宇治市中央図書館で開催しました。

「会報」は会や加盟館の動向や職員の情報について情報を伝えるとともに、出来事や記録の役割もあつとを再認識するとともに、取材の役割分担を行い、今年度の発行予定内容、各号の編集会議開催日程等について話し合いました。

なお、本年度からは、総会の議決も得て「会報」はA四サイズとなりましたので活字は大きく見易くなつたかと思えます。

編 集 子

府立図書館の広域貸出事業により北部も蔵書が充実しつつあり、その中大宮町、網野町が京図連協加盟となりました。連絡車も月二回となって、北部エリアは更にパワーアップしていきます。それにしても我らの府立図書館が心配です。